

## ステイホーム、親子で楽しんだ本

東京都小金井市 金子 奈紫来<sup>なしら</sup>

私の家族は台湾人の主人、小学4年生の娘、年長の息子そして私の四大家族です。娘は中華系のインターナショナルスクールに通っています。コロナの影響により、3月から娘の通う学校は休校、息子の幼稚園も休園となり、長い春休みが始まりました。台湾政府の情報を見ていた学校及び先生方は、おそらく予期していたのででしょう、2月の授業進度は早く教科書は急ぎ足ながらも、すべて終了しました。そして、4月 Webex によるオンライン授業、まずはやってみますの連絡。すると1日目からほぼ生徒全員が参加、担任の先生と親の熱意によるものか、どんどん進んでいきました。小4のオンライン授業は担任が受け持っている中国語と算数のみ毎日、英語は PowerPoint での配信。google Classroom で中国語、算数、英語、課題が出て画像を提出、スプレッドシートにて各自課題未提出確認と盛りだくさんでした。もちろんスムーズにいかないこともありました。先生が繋がらない事態、生徒が途中から繋がらないこともありました。我が家も1回ネットがきれた事があります。でも、決して変わらなかったのは「何かあったら報告して下さい、どんな方法でも勉強を止めない」の姿勢。共働きの方が多く皆が大変な中、同級生そして親は食らいついてきました。そして5月、休校の延長が決定しオンライン授業拡大です。メイン強化の中国語、算数に加え日本語、理科、社会も加わることになりました。可能なら全教科をオンラインということでしたが、生徒の視力等々の問題を考慮し、その他の教科は課題を提出のみとなりました。ずっと担任以外会えていなかった先生方の姿が拝見でき、子どもたちは一喜一憂です。年齢が少々上の先生は「ネットあまりわからないから、皆さん教えて下さいね」のお声かけ、それに対し子どもたちが「先生それはこうだよ！」などと言うのを横で聞きながら、親である私たちはそんな子どもたちの成長が頼もしく、そしてありがたくて涙していました。

そんな一方、飲食店勤務の主人は4月お店の休業が決定、先の見えない休みとなりました。不安を感じながら子ども達と時間が取れることを喜び、毎日を過ごしました。運動不足解消のため毎朝ジョギング散歩していると、景色が変わっていきました。桜が咲きチューリップが咲き、たんぽぽの綿毛を息子が飛ばすのを見ながら季節の移ろいを感じました。そんな時支えてくれたのは身近なものを感じられる絵本です。チューリップが芽を出すと『ちゅーりっぷ』、タンポポを摘んでは『たんぽぽ』を読み、梅仕事をしては『うめ』、パンを丸めては『ぼくのぼんわたしのぼん』を読みました。5月に入り主人が出勤になり、困った私を救ったのは近所の川と科学絵本です。川に行きメダカをとり『メダカ』を読みました。今では上の子はオスメス判断が出来るようになり、同級生に教えるくらいになりました。『海べのあさ』を読んだ翌日、メダカ取りをしている娘から「歯がぬけた～」の声、ちょっと血がつき泥がついている歯を渡されました。「なんで今抜けるの～」と言う娘に「海べのあさのように、なくならなくて良かったね」と笑いました。最近初めて歯がぬけた息子も「僕は歯をなくさなかった、ちゃんと枕の下に入れてお願いする」と自慢げ。母である私は何のお願い事をするのかドキドキしています。庭に迷い込んだキリギリスを

「バッタ取った～！えっバッタじゃない？ 何？ キリギリス？」と Google 検索し、キリギリスと判明。『きりぎりす』を棚から出して読みました。今、家の庭にメダカ・ヌマエビ・どじょう・タモロコ・ザリガニ・キリギリス・カマキリ・カタツムリの卵・カエル・カブトムシの幼虫・ヤゴ・ウシガエルのおたまじゃくしが入った虫かごが並び、幼稚園ママと大変なことになったと笑っています。卵から赤ちゃんが生まれ生命を感じられるのが、最近の癒しです。野菜の種たちが芽を出すのも嬉しくなりました。また、実家が米農家の友人から稲の苗を分けてもらい、発泡スチロールに植えました。私は稲の絵本が家にないかと検索、図書館に行くこともできないもどかしさから、『たんぼの一年』をポチッと注文してしまいました。私自身は科学絵本ではなく、物語が好きでそっちらり読んでいたのですが、母が残しておいてくれた科学絵本が今生きてきました。まだまだ私は勉強不足だと感じます。



〈たんぼぼの綿毛をとる息子〉



〈ネズミ（紙製ランタン）〉

そして、日本にいる主人を心配した義理のお姉さんが送ってきてくれた品物に入っていた、ネズミの紙工作(干支ランタン)を作り『ねずみのおよめいり』を読み、息子と娘は「紙人形劇をしたい、でも川で友達と桃太郎もしたい」とだいぶ欲張り気味です。

まだ元の日常に戻れない悲しさは大きくても、今まで目を向けていなかったことに目をむけ、前進していこうと日々模索の毎日です。

2020年 6月5日

『ちゅーりっぷ』年少版 こどものとも通巻 36号

『たんぼぼ』平山和子/作絵 かがくのとも

『うめ』かがくのとも 123号

『ぼくのぼんわたしのぼん』神沢利子/作 林明子/絵 かがくのとも傑作集

『メダカ』カラー自然シリーズ 偕成社

『海べのあさ』ロバート・マックロスキー/作絵 岩波書店

『きりぎりす』フレーベルの科学えほん

『たんぼの一年』瀬長剛/文・絵 偕成社

『ねずみのおよめいり』モニカチャン/文 レスリーリョウ/絵 河出書房新社